

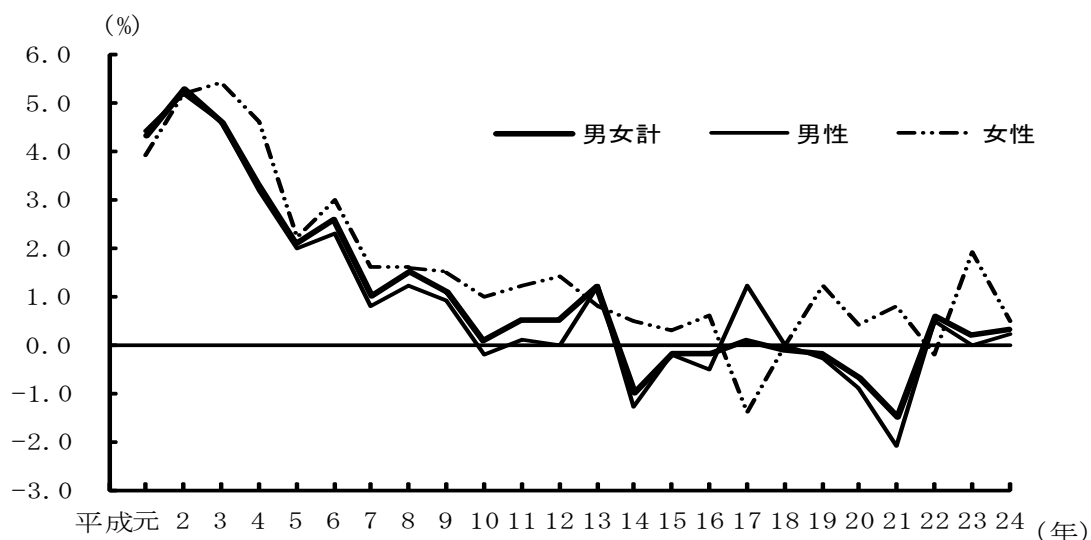
調査結果の概況

1 一般労働者の賃金

(1) 賃金の推移

賃金は、男女計297.7千円(年齢41.7歳、勤続11.8年)、男性329.0千円(年齢42.5歳、勤続13.2年)、女性233.1千円(年齢40.0歳、勤続8.9年)となっており、前年と比べると、男女計では0.3%、男性では0.2%、女性では0.5%それぞれ上昇している(第1図、第1表)。

第1図 性別賃金の対前年増減率の推移



第1表 性別賃金及び対前年増減率の推移

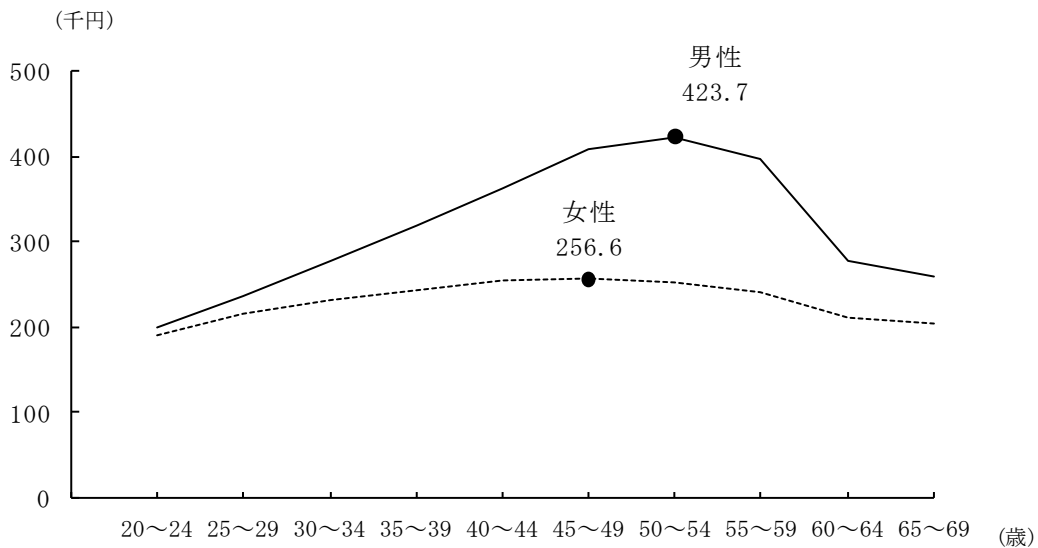
年	男女計		男性		女性	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
平成元年	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9
2	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2
3	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4
4	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6
5	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2
6	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0
7	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6
8	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6
9	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6
17	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4
18	301.8	-0.1	337.7	-0.0	222.6	0.0
19	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2
20	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4
21	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8
22	296.2	0.6	328.3	0.5	227.6	-0.2
23	296.8	0.2	328.3	0.0	231.9	1.9
24	297.7	0.3	329.0	0.2	233.1	0.5
平成24年 年齢(歳)	41.7		42.5		40.0	
勤続年数(年)	11.8		13.2		8.9	

(2) 性別にみた賃金

性別に賃金カーブ※をみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50～54歳で423.7千円（20～24歳の賃金を100とすると211）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性では、45～49歳の256.6千円（同135）がピークとなっているが、男性に比べ、賃金カーブは緩やかとなっている。（第2図、第2表）

※賃金カーブとは、年齢(階級)とともに変化する賃金額の状況をグラフで表したものをいう。以下同じ。

第2図 性、年齢階級別賃金



注：線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

第2表 性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	329.0	0.2	164	233.1	0.5	122
20～24歳	200.5	-0.1	100	190.5	-0.1	100
25～29	237.1	-0.6	118	216.7	0.8	114
30～34	278.3	0.2	139	232.7	-0.2	122
35～39	319.6	-0.1	159	244.2	-1.3	128
40～44	363.3	-1.3	181	254.9	0.3	134
45～49	408.1	-0.7	204	256.6	1.3	135
50～54	423.7	1.4	211	252.7	0.3	133
55～59	398.7	2.0	199	240.4	0.5	126
60～64	278.1	-1.2	139	211.3	3.0	111
65～69	260.7	1.2	130	205.6	3.8	108
年齢(歳)	42.5			40.0		
勤続年数(年)	13.2			8.9		

注：年齢計には、上掲の年齢階級に限らず、すべての年齢の者を含む。以下同じ。

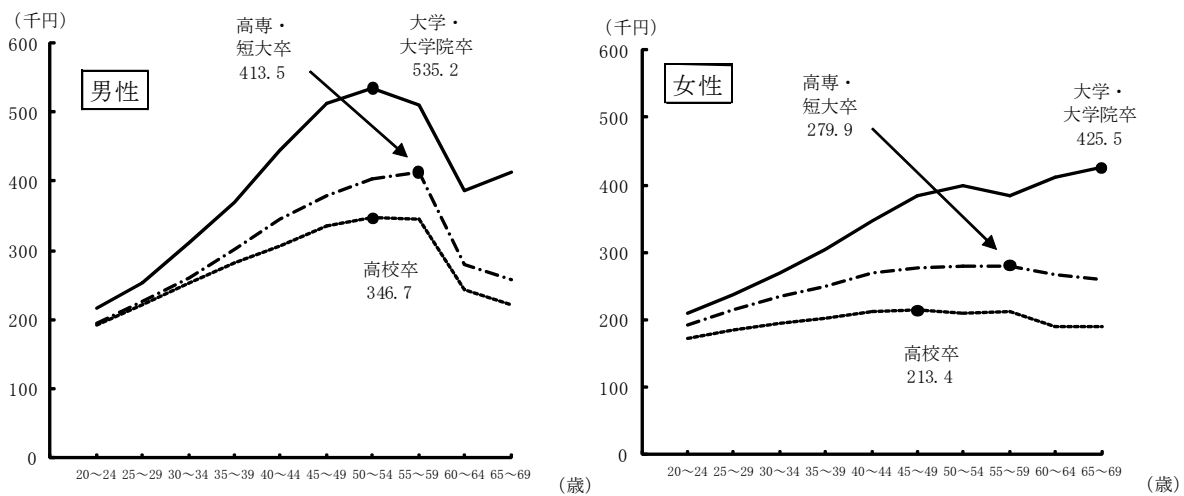
(3) 学歴別にみた賃金

学歴別に賃金をみると、男性では、大学・大学院卒が398.6千円（前年比0.2%減）、高専・短大卒が303.8千円（同0.9%増）、高校卒が285.7千円（同0.2%減）となっており、高専・短大卒が前年を上回っている。女性では、大学・大学院卒が282.7千円（同0.2%減）、高専・短大卒が246.3千円（同0.4%増）、高校卒が200.4千円（同0.4%増）となっており、高専・短大卒及び高校卒が前年を上回っている。

学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男性では、大学・大学院卒及び高校卒で50～54歳、高専・短大卒で55～59歳、女性では、大学・大学院卒で65～69歳、高専・短大卒で55～59歳、高校卒で45～49歳となっている。

学歴別に賃金カーブをみると、男女いずれも大学・大学院卒の賃金カーブが急になっている。（第3図、第3表）

第3図 学歴、性、年齢階級別賃金



第3表 学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

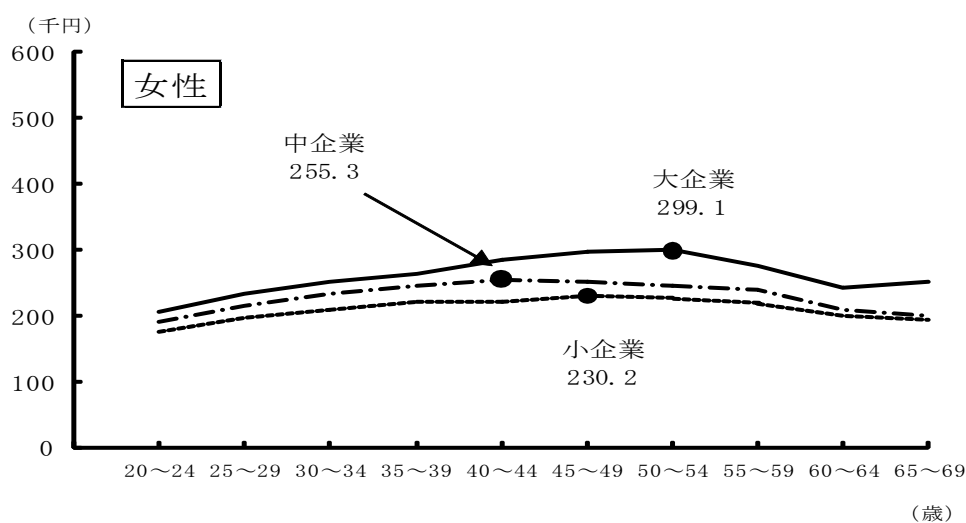
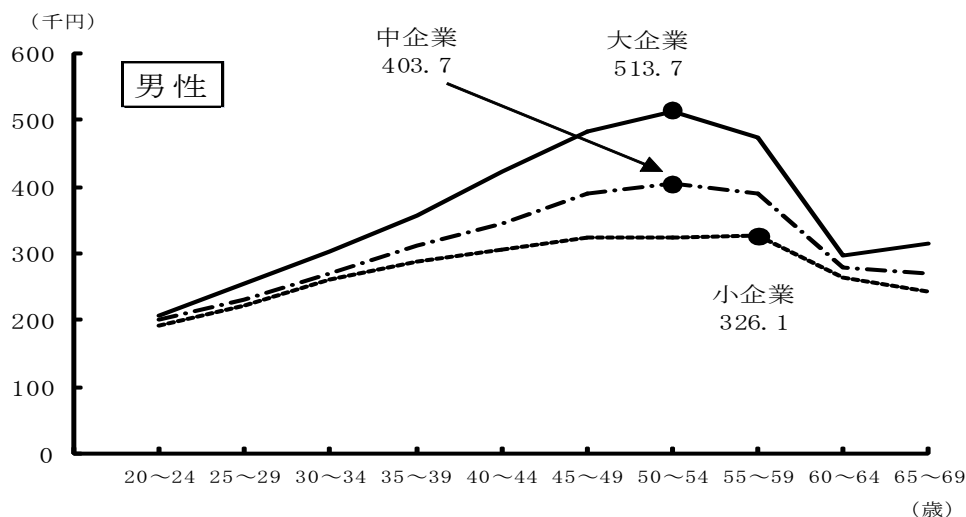
性、年齢階級	大学・大学院卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	398.6	-0.2	183	303.8	0.9	156	285.7	-0.2	149
	20～24歳	217.3	-1.7	100	195.1	-0.4	100	192.3	0.8	100
	25～29	253.8	-1.4	117	225.9	-0.4	116	220.5	0.8	115
	30～34	310.0	-0.9	143	261.0	0.3	134	252.0	1.1	131
	35～39	369.9	-1.1	170	300.8	-0.0	154	282.4	-0.2	147
	40～44	444.3	-2.6	204	346.0	0.1	177	307.3	-0.2	160
	45～49	513.6	-0.9	236	378.2	-2.4	194	334.2	-1.4	174
	50～54	535.2	0.5	246	402.4	-1.6	206	346.7	0.8	180
	55～59	511.7	1.7	235	413.5	-0.1	212	346.2	0.4	180
	60～64	385.3	-5.4	177	279.2	-2.1	143	243.3	-0.5	127
65～69	414.3	0.4	191	257.8	-10.5	132	220.1	-0.3	114	
年齢(歳)	41.1			39.1			43.4			
勤続年数(年)	12.8			11.7			13.7			
女性	年齢計	282.7	-0.2	134	246.3	0.4	128	200.4	0.4	117
	20～24歳	210.2	-1.1	100	193.1	-0.3	100	171.7	1.3	100
	25～29	237.2	0.7	113	215.0	0.4	111	184.0	1.0	107
	30～34	269.1	-2.5	128	233.5	1.1	121	195.1	1.1	114
	35～39	304.8	-3.0	145	249.5	-0.6	129	203.3	-2.5	118
	40～44	346.4	-5.0	165	269.1	0.9	139	211.2	0.5	123
	45～49	382.9	2.6	182	277.3	-0.4	144	213.4	0.9	124
	50～54	399.1	4.9	190	279.4	-2.0	145	209.7	-1.0	122
	55～59	383.7	-1.3	183	279.9	-3.0	145	212.0	0.2	123
	60～64	411.4	3.2	196	267.4	2.8	138	188.5	2.4	110
65～69	425.5	-4.9	202	258.4	1.7	134	189.6	2.0	110	
年齢(歳)	34.4			38.8			43.4			
勤続年数(年)	6.6			8.9			9.8			

(4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に賃金をみると、男性では、大企業が380.6千円（前年比1.4%減）、中企業が316.5千円（同0.1%増）、小企業が282.2千円（同0.1%減）、女性では、大企業が258.1千円（同1.8%減）、中企業が231.7千円（同0.3%増）、小企業が210.2千円（同1.0%増）となっており、男性は中企業が前年を上回り、女性は中企業及び小企業において前年を上回っている。また、大企業の賃金を100とすると、中企業の賃金は、男性で83（前年82）、女性で90（同88）、小企業の賃金は、男性で74（同73）、女性で81（同79）となっている。

賃金がピークとなる年齢階級を企業規模別にみると、男性では、大企業及び中企業において50～54歳で、大企業513.7千円（20～24歳の賃金を100とすると248）、中企業403.7千円（同202）、小企業が55～59歳で326.1千円（同170）となっている。女性では、大企業が50～54歳で299.1千円（同146）、中企業が40～44歳で255.3千円（同134）で、小企業が45～49歳で230.2千円（同131）となっており、男性に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。（第4図、第4表）

第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金



第4表 企業規模、性、年齢階級別賃金、対前年増減率、企業規模間賃金格差及び年齢階級間賃金格差

性、 年齢階級	大企業				中企業				小企業				
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		
			企業規模 間賃金格差 (大企業=100)	年齢階級 間賃金格 差 (20~24 歳=100)			企業規模 間賃金格差 (大企業=100)	年齢階級 間賃金格 差 (20~24 歳=100)			企業規模 間賃金格差 (大企業=100)	年齢階級 間賃金格 差 (20~24 歳=100)	
男性	年齢計	380.6	-1.4	100	184	316.5	0.1	83 (82)	158	282.2	-0.1	74 (73)	147
	20~24歳	207.4	-2.4	100	100	200.0	0.9	96 (93)	100	191.4	1.6	92 (89)	100
	25~29	253.4	-1.5	100	122	230.4	-1.6	91 (91)	115	223.1	0.9	88 (86)	117
	30~34	303.4	-2.0	100	146	268.8	-0.3	89 (87)	134	260.9	2.0	86 (83)	136
	35~39	356.3	-2.2	100	172	310.6	0.5	87 (85)	155	287.1	0.2	81 (79)	150
	40~44	422.6	-3.1	100	204	345.6	-1.5	82 (80)	173	306.0	-0.9	72 (71)	160
	45~49	481.0	-3.4	100	232	389.3	0.0	81 (78)	195	322.3	-1.2	67 (66)	168
	50~54	513.7	0.7	100	248	403.7	-0.7	79 (80)	202	323.4	-1.2	63 (64)	169
	55~59	472.8	1.3	100	228	389.0	-0.2	82 (84)	195	326.1	1.3	69 (69)	170
	60~64	295.9	-5.6	100	143	280.0	-1.0	95 (90)	140	264.9	0.4	90 (84)	138
	65~69	314.6	-12.5	100	152	270.1	6.6	86 (70)	135	243.5	1.1	77 (67)	127
年齢(歳)	41.8				42.2				43.8				
勤続年数(年)	15.7				12.5				11.0				
女性	年齢計	258.1	-1.8	100	126	231.7	0.3	90 (88)	122	210.2	1.0	81 (79)	120
	20~24歳	205.3	-1.3	100	100	190.6	-0.9	93 (93)	100	175.4	1.2	85 (83)	100
	25~29	232.3	-1.1	100	113	214.8	0.4	92 (91)	113	198.0	1.6	85 (83)	113
	30~34	250.9	-1.8	100	122	233.2	-0.3	93 (92)	122	209.6	-0.5	84 (82)	119
	35~39	264.6	-3.2	100	129	245.4	-1.8	93 (91)	129	220.3	0.1	83 (81)	126
	40~44	283.7	-3.9	100	138	255.3	1.1	90 (86)	134	221.1	1.5	78 (74)	126
	45~49	295.9	-1.8	100	144	249.7	1.2	84 (82)	131	230.2	2.4	78 (75)	131
	50~54	299.1	0.5	100	146	246.0	-2.0	82 (84)	129	226.1	0.9	76 (75)	129
	55~59	274.8	-3.1	100	134	238.3	1.0	87 (83)	125	217.8	-0.3	79 (77)	124
	60~64	241.4	3.5	100	118	209.7	1.3	87 (89)	110	198.1	3.2	82 (82)	113
	65~69	250.8	-1.1	100	122	200.9	4.1	80 (76)	105	193.7	2.9	77 (74)	110
年齢(歳)	38.5				40.2				41.4				
勤続年数(年)	9.7				8.5				8.6				

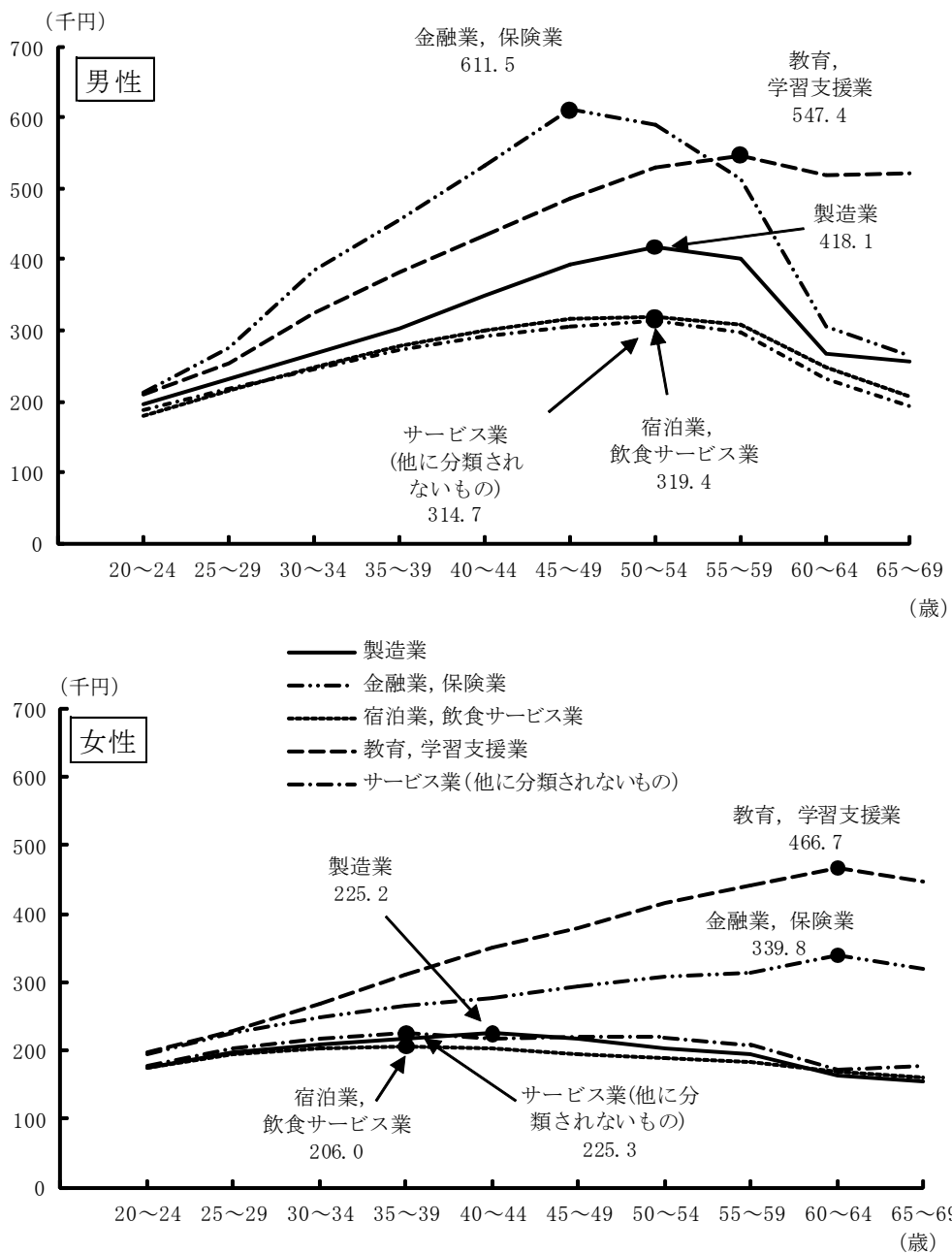
注：()内は、平成23年の数値である。

(5) 産業別にみた賃金

主な産業別に賃金をみると、男性では、金融業、保険業(465.3千円)が最も高く、次いで教育、学習支援業(442.4千円)となり、サービス業(他に分類されないもの)(262.6千円)が最も低くなっている。女性では、教育、学習支援業(310.5千円)が最も高く、宿泊業、飲食サービス業(188.1千円)が最も低くなっている。

さらに賃金カーブをみると、男性では、金融業、保険業は45～49歳で賃金がピークとなり、その後は大きく下降している。また、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業(他に分類されないもの)は賃金カーブが緩やかとなっている。女性では、金融業、保険業、教育、学習支援業は、年齢階級が高くなるとともにおおむね賃金も上昇しているが、製造業、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業(他に分類されないもの)は賃金カーブが緩やかとなっている。(第5図、第5表)

第5図 産業、性、年齢階級別賃金



第5表 主な産業、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級		建設業	製造業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	サービス業（他に分類されないもの）
賃金（千円）	年齢計	322.5	318.7	416.8	270.0	331.7	465.3	396.2	265.8	284.2	442.4	348.3	262.6
	20～24歳	213.3	196.5	215.1	196.5	204.6	213.2	210.4	179.8	193.3	210.2	203.3	188.8
	25～29	247.4	231.2	254.1	226.7	235.3	275.6	260.0	215.8	231.4	253.4	238.0	219.1
	30～34	282.4	266.3	308.2	259.7	279.9	386.0	321.4	247.8	282.9	325.9	275.1	243.9
	35～39	320.7	301.9	387.1	276.4	324.1	455.6	364.7	279.0	305.0	383.2	331.5	271.9
	40～44	350.1	350.5	458.7	285.4	369.5	531.7	429.6	301.2	330.9	434.1	382.3	291.3
	45～49	384.0	392.7	528.3	303.4	411.4	611.5	491.6	315.7	353.9	486.6	455.4	306.3
	50～54	396.2	418.1	605.7	310.6	427.3	590.3	518.0	319.4	352.7	529.2	503.5	314.7
	55～59	377.0	402.3	553.6	290.7	412.6	512.5	511.1	307.0	333.3	547.4	533.1	296.0
	60～64	286.6	267.2	312.1	219.6	282.8	306.0	368.3	246.7	257.1	517.9	437.5	230.2
65～69	260.4	257.5*	308.7	192.1	286.9*	264.3	346.4	207.3	212.2	521.5*	467.4	192.5	
賃金(年齢計)の対前年増減率(%)		-0.9	1.2	2.2	2.1	2.6	-5.5	-1.6	-0.9	-1.1	-1.5	0.7	-4.4
年齢(歳)		44.0	41.8	40.9	45.9	41.3	42.6	42.7	40.9	39.3	46.4	39.6	44.0
勤続年数(年)		14.0	14.9	14.9	11.9	13.3	16.1	13.8	9.3	9.2	13.9	8.0	8.8
年齢階級間賃金格差（20～24歳 100）	年齢計	151	162	194	137	162	218	188	148	147	210	171	139
	20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	116	118	118	115	115	129	124	120	120	121	117	116
	30～34	132	136	143	132	137	181	153	138	146	155	135	129
	35～39	150	154	180	141	158	214	173	155	158	182	163	144
	40～44	164	178	213	145	181	249	204	168	171	207	188	154
	45～49	180	200	246	154	201	287	234	176	183	231	224	162
	50～54	186	213	282	158	209	277	246	178	182	252	248	167
	55～59	177	205	257	148	202	240	243	171	172	260	262	157
	60～64	134	136	145	112	138	144	175	137	133	246	215	122
65～69	122	131	144	98	140	124	165	115	110	248	230	102	
賃金（千円）	年齢計	224.3	201.8	301.7	207.7	219.9	265.9	277.2	188.1	207.8	310.5	247.2	209.7
	20～24歳	194.0	174.4	206.1	184.5	186.1	195.0	197.5	174.7	183.9	198.0	202.5	177.5
	25～29	210.0	197.1	236.5	214.4	210.7	226.9	239.6	194.8	207.7	227.8	226.7	201.8
	30～34	212.4	209.4	271.0	208.7	224.5	248.6	273.2	203.5	217.7	268.3	244.6	216.6
	35～39	227.0	217.1	305.9	220.3	233.4	266.0	290.0	206.0	231.6	312.2	256.2	225.3
	40～44	241.8	225.2	336.6	221.6	247.7	275.8	303.5	203.5	237.7	350.3	261.7	216.5
	45～49	238.7	217.6	397.8	219.7	243.0	294.6	336.5	195.5	226.2	377.9	267.6	221.5
	50～54	231.4	204.0*	481.6	212.8	220.3	306.8	324.5	189.6	216.8	414.8	267.8	219.1
	55～59	253.2	195.2	355.9	185.4	213.5	312.8	301.0	181.8	204.5	441.3	266.0	207.4
	60～64	203.0	162.1	248.3	178.5	192.0	339.8	234.9	168.2	176.4	466.7	244.9	171.1
65～69	184.1	154.7*	236.9	177.3	182.0	319.4*	256.3	161.4	165.1	446.4	248.2	178.7	
賃金(年齢計)の対前年増減率(%)		0.1	0.7	4.8	2.1	3.0	-0.9	-1.9	0.6	1.6	1.0	0.1	1.2
年齢(歳)		41.6	42.0	36.9	40.7	38.9	40.1	38.0	40.4	37.8	38.6	40.0	40.4
勤続年数(年)		10.9	10.9	10.6	8.5	8.9	10.9	9.7	7.2	7.4	9.8	7.6	6.3
年齢階級間賃金格差（20～24歳 100）	年齢計	116	116	146	113	118	136	140	108	113	157	122	118
	20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	108	113	115	116	113	116	121	112	113	115	112	114
	30～34	109	120	131	113	121	127	138	116	118	136	121	122
	35～39	117	124	148	119	125	136	147	118	126	158	127	127
	40～44	125	129	163	120	133	141	154	116	129	177	129	122
	45～49	123	125	193	119	131	151	170	112	123	191	132	125
	50～54	119	117	234	115	118	157	164	109	118	209	132	123
	55～59	131	112	173	100	115	160	152	104	111	223	131	117
	60～64	105	93	120	97	103	174	119	96	96	236	121	96
65～69	95	89	115	96	98	164	130	92	90	225	123	101	

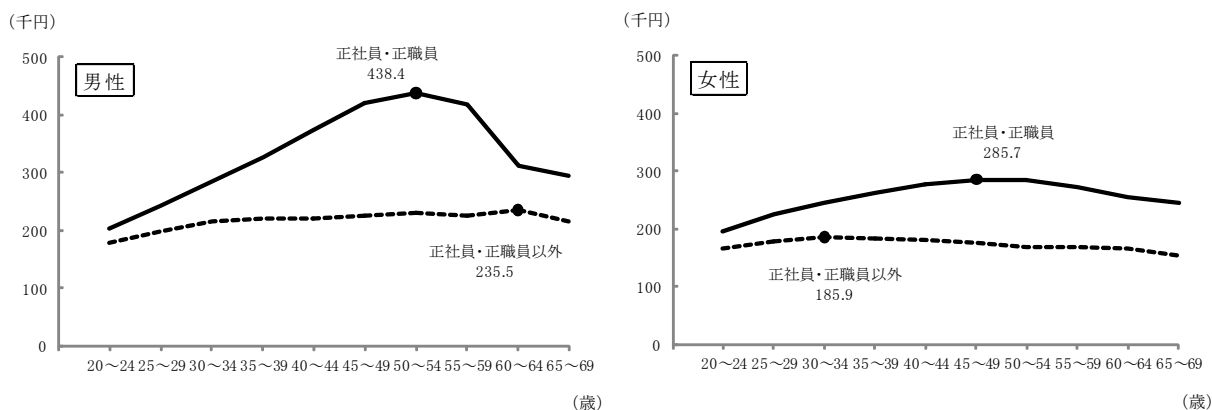
(6) 雇用形態別の賃金

雇用形態別の賃金をみると、正社員・正職員317.0千円（年齢41.1歳、勤続12.7年）、正社員・正職員以外196.4千円（年齢44.9歳、勤続6.8年）となっている。男女別にみると、男性では、正社員・正職員343.8千円（前年比1.2%増）、正社員・正職員以外218.4千円（同1.7%減）、女性では、正社員・正職員252.2千円（同1.4%増）、正社員・正職員以外174.8千円（同1.5%増）となっている。

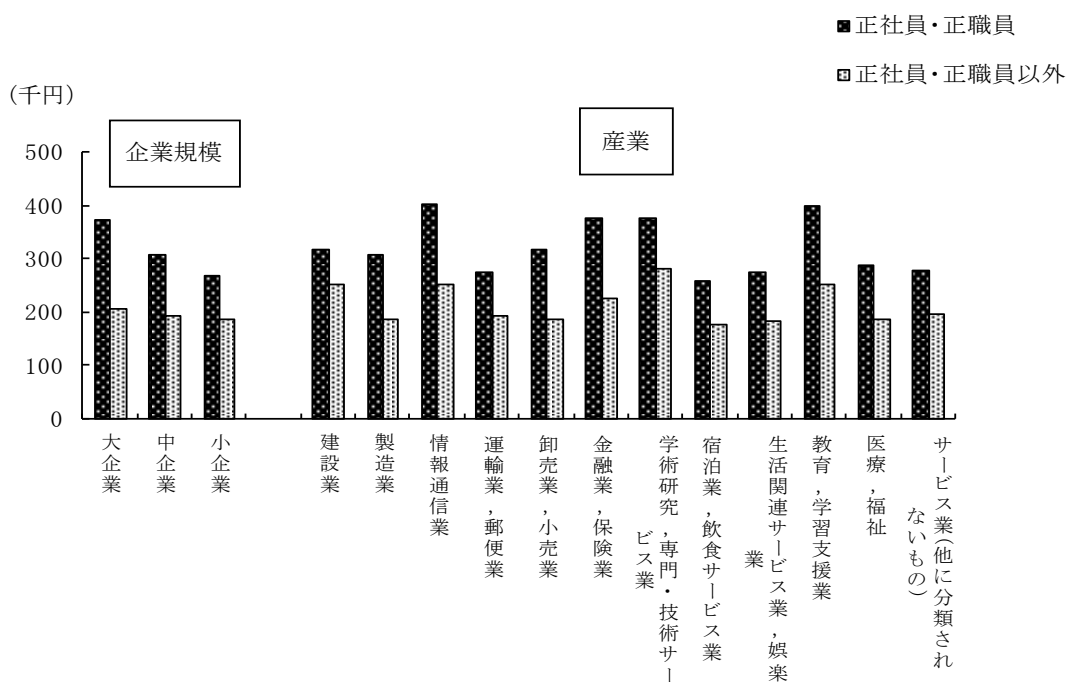
年齢階級別にみると、正社員・正職員以外は、男女いずれも年齢階級が高くなっても賃金の上昇があまり見られない。

正社員・正職員の賃金を100とすると、正社員・正職員以外の賃金は、男女計で62（前年63）、男性で64（同65）、女性で69（同69）となっている。なお、企業規模別では、大企業で55（同56）、主な産業別では、卸売業，小売業で59（同58）と、賃金格差が大きくなっている。（第6図、第7図、第6表、第7表、第8表）

第6図 雇用形態、性、年齢階級別賃金



第7図 雇用形態、企業規模・主な産業別賃金



第6表 雇用形態、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

年齢階級	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
年齢計	317.0	1.3	196.4	0.3	62 (63)	343.8	1.2	218.4	-1.7	64 (65)	252.2	1.4	174.8	1.5	69 (69)
20～24歳	200.4	-0.0	171.7	4.4	86 (82)	204.1	-0.1	178.2	4.5	87 (84)	196.0	-0.1	165.9	3.8	85 (81)
25～29	235.9	0.4	188.2	0.2	80 (80)	242.4	-0.1	197.8	-0.7	82 (82)	225.5	1.3	179.3	0.8	80 (80)
30～34	272.7	0.5	200.6	0.9	74 (73)	285.0	0.8	216.7	-0.2	76 (77)	245.0	0.1	185.9	1.1	76 (75)
35～39	310.7	0.4	200.3	-0.4	64 (65)	327.4	0.5	220.5	-1.3	67 (69)	261.9	-0.4	184.4	-0.5	70 (70)
40～44	349.1	-0.4	196.6	1.7	56 (55)	373.7	-0.5	221.0	-2.5	59 (60)	278.3	0.7	180.2	3.0	65 (63)
45～49	385.9	0.6	193.4	1.0	50 (50)	420.6	0.1	225.7	-4.8	54 (56)	285.7	1.9	175.7	2.6	61 (61)
50～54	398.9	2.3	191.2	0.5	48 (49)	438.4	2.2	229.1	-3.1	52 (55)	284.7	1.6	169.7	1.9	60 (59)
55～59	384.4	3.2	194.0	0.1	50 (52)	418.3	2.9	225.2	-2.8	54 (57)	272.4	1.7	167.4	2.6	61 (61)
60～64	297.4	2.2	215.5	-1.7	72 (75)	311.2	0.7	235.5	-2.1	76 (78)	255.2	7.6	165.0	-0.2	65 (70)
65～69	281.6	3.2	198.0	0.4	70 (72)	295.5	2.0	214.7	2.0	73 (73)	245.0	9.1	154.6	-4.3	63 (72)
年齢(歳)	41.1		44.9			42.0		46.6			39.0		43.1		
勤続年数(年)	12.7		6.8			13.9		7.6			9.8		5.9		

注:()内は、平成23年の数値である。

第7表 雇用形態、性、企業規模別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

企業規模	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
大企業	373.2	0.2	204.9	-2.2	55 (56)	402.2	0.5	222.8	-6.7	55 (60)	286.5	-0.6	186.5	2.2	65 (63)
中企業	306.8	1.3	193.8	-0.6	63 (64)	331.6	0.8	216.6	-0.8	65 (66)	252.8	1.8	173.1	-0.5	68 (70)
小企業	268.4	0.4	188.4	3.0	70 (68)	289.5	0.2	215.0	2.1	74 (73)	221.6	1.0	160.1	1.0	72 (72)

注:()内は、平成23年の数値である。

第8表 雇用形態、性、主な産業別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

産業	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
産業計	317.0	1.3	196.4	0.3	62 (63)	343.8	1.2	218.4	-1.7	64 (65)	252.2	1.4	174.8	1.5	69 (69)
建設業	319.3	0.2	251.3	1.1	79 (78)	331.4	0.3	258.1	-1.3	78 (79)	227.8	-0.6	196.7	8.0	86 (79)
製造業	308.9	1.4	186.8	1.5	60 (60)	330.3	1.8	213.8	1.7	65 (65)	220.2	1.3	156.3	0.6	71 (72)
情報通信業	404.4	4.3	252.0	-10.0	62 (72)	424.2	3.1	278.7	-18.6	66 (83)	318.2	5.1	221.9	-1.2	70 (74)
運輸業, 郵便業	275.0	3.3	193.4	-2.1	70 (74)	280.3	3.5	202.6	-2.9	72 (77)	226.8	3.5	164.2	-0.6	72 (75)
卸売業, 小売業	316.7	2.6	186.1	-3.9	59 (58)	342.9	2.8	216.3	4.5	63 (62)	242.7	3.0	166.9	2.3	69 (69)
金融業, 保険業	377.4	-6.0	225.7	-3.7	60 (58)	474.8	-5.0	276.3	-9.5	58 (61)	272.7	-1.0	198.9	0.1	73 (72)
学術研究, 専門・技術サービス業	378.0	-0.4	281.5	-6.0	74 (79)	401.2	-1.4	332.3	-3.0	83 (84)	291.1	0.5	216.3	-11.9	74 (85)
宿泊業, 飲食サービス業	258.4	0.0	177.1	1.4	69 (68)	282.6	-0.3	195.3	-0.2	69 (69)	205.8	0.7	164.6	2.9	80 (78)
生活関連サービス業, 娯楽業	274.5	-0.4	185.0	1.9	67 (66)	304.8	-0.7	200.0	-0.0	66 (65)	226.3	0.8	174.5	2.5	77 (76)
教育, 学習支援業	400.1	-0.8	253.7	0.9	63 (62)	454.6	-1.6	292.8	-0.3	64 (64)	322.7	0.9	219.9	2.5	68 (67)
医療, 福祉	288.8	1.6	185.9	-1.6	64 (67)	365.1	1.8	215.6	-4.8	59 (63)	259.5	1.1	177.8	-0.4	69 (70)
サービス業 (他に分類されないもの)	278.5	-1.0	193.9	-0.2	70 (69)	291.8	-2.3	197.7	-2.7	68 (68)	235.4	3.6	189.4	3.6	80 (81)

注:1)産業計には、上掲のほか、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。

2) ()内は、平成23年の数値である。

(7) 賃金の分布

賃金の分布を男女別にみると、男性では、50～54歳までは年齢階級が高くなるとともに賃金階級の高い層におおむねより多くの労働者が分布している。また、女性では、40～44歳までは年齢階級が高くなるとともに賃金階級の高い層におおむねより多くの労働者が分布しているが、それ以降は低い賃金階級に多く分布している。

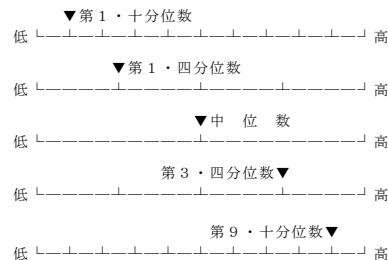
賃金分布の広がりを分散係数でみると、男女いずれも年齢階級が高くなるとともにおおむね大きくなっている。また、学歴別に分位数で広がりをみると、男女とも大学・大学院卒が他の学歴に比べ、大きくなっている。（第9表、第8図）

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-1）

賃金階級	男性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	1.1
120.0 ～ 139.9	0.5	1.2	0.5	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	1.6	4.5
140.0 ～ 159.9	1.6	3.1	1.8	1.1	0.8	0.7	0.6	1.0	1.4	4.5	8.2
160.0 ～ 179.9	3.0	7.5	3.6	2.1	1.4	1.6	1.5	1.7	2.4	7.3	11.4
180.0 ～ 199.9	4.9	16.3	6.4	3.8	2.8	2.4	2.0	2.5	3.3	9.4	11.3
200.0 ～ 219.9	6.4	23.0	11.0	6.4	3.8	3.1	3.0	2.8	3.7	10.1	9.9
220.0 ～ 239.9	7.7	22.8	16.2	8.9	5.6	4.3	3.4	3.5	4.2	10.1	8.5
240.0 ～ 259.9	8.0	13.5	18.1	11.5	7.4	5.1	4.0	3.9	4.0	8.5	7.4
260.0 ～ 279.9	7.7	6.8	14.4	12.5	8.3	6.2	4.5	4.1	4.7	7.7	6.0
280.0 ～ 299.9	7.2	2.6	10.5	12.1	9.4	6.6	4.9	4.1	4.8	7.1	4.4
300.0 ～ 319.9	6.3	1.2	6.7	10.1	9.7	6.7	4.9	4.5	4.3	5.1	3.2
320.0 ～ 339.9	5.8	0.6	4.0	8.0	9.1	7.1	5.4	4.6	4.7	4.5	4.5
340.0 ～ 359.9	5.0	0.3	2.2	6.3	7.7	6.6	5.5	4.6	4.6	3.4	2.7
360.0 ～ 399.9	4.4	0.2	1.4	4.1	6.7	6.4	5.3	4.6	4.8	2.9	1.9
400.0 ～ 449.9	7.5	0.2	1.6	5.6	10.3	11.2	10.7	9.3	9.7	3.5	2.3
450.0 ～ 499.9	7.1	0.2	0.6	3.4	7.5	10.5	12.2	10.9	11.4	3.3	2.7
500.0 ～ 599.9	4.8	0.1	0.3	1.6	3.5	7.0	8.5	9.4	8.9	2.2	1.5
600.0 ～ 699.9	5.7	0.0	0.3	1.1	3.2	7.2	11.3	12.8	11.1	3.6	2.4
700.0 ～ 799.9	3.0	-	0.1	0.6	1.4	4.3	6.1	6.9	5.5	1.9	1.8
800.0 ～ 899.9	1.4	-	0.0	0.2	0.5	1.3	2.4	4.1	2.4	1.2	1.9
900.0 ～ 999.9	0.8	-	0.0	0.1	0.2	0.6	1.7	2.1	1.6	0.6	0.9
1000.0 ～ 1199.9	0.3	-	0.0	0.0	0.2	0.3	0.7	0.7	0.5	0.3	0.4
1200.0 ～	0.3	-	0.0	0.1	0.1	0.2	0.6	0.9	0.8	0.3	0.3
1200.0 ～	0.3	-	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	0.6	0.8	0.4	0.7
平均値 (千円)	329.0	200.5	237.1	278.3	319.6	363.3	408.1	423.7	398.7	278.1	260.7
第1・十分位数 (千円)	179.5	155.4	173.1	189.8	203.6	209.3	215.3	209.1	192.2	150.6	131.0
第1・四分位数 (千円)	222.0	176.6	202.1	224.2	247.6	264.6	283.4	284.3	262.7	183.1	159.6
中位数 (千円)	288.8	198.8	231.4	265.6	301.2	337.9	376.7	392.9	369.7	235.2	206.5
第3・四分位数 (千円)	392.4	221.1	264.7	314.8	367.0	428.4	489.8	519.7	486.5	312.7	289.5
第9・十分位数 (千円)	525.0	246.5	302.8	376.2	442.5	546.6	628.8	676.0	617.6	457.3	443.9
十分位分散係数	0.60 (0.59)	0.23 (0.23)	0.28 (0.29)	0.35 (0.35)	0.40 (0.40)	0.50 (0.49)	0.55 (0.55)	0.59 (0.58)	0.58 (0.57)	0.65 (0.67)	0.76 (0.70)
四分位分散係数	0.30 (0.29)	0.11 (0.11)	0.14 (0.14)	0.17 (0.17)	0.20 (0.20)	0.24 (0.24)	0.27 (0.27)	0.30 (0.29)	0.30 (0.30)	0.28 (0.30)	0.31 (0.30)

注： 1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、該当労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べて、以下の説明内容に該当する者の賃金である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

○ 十分位分散係数 =
$$\frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

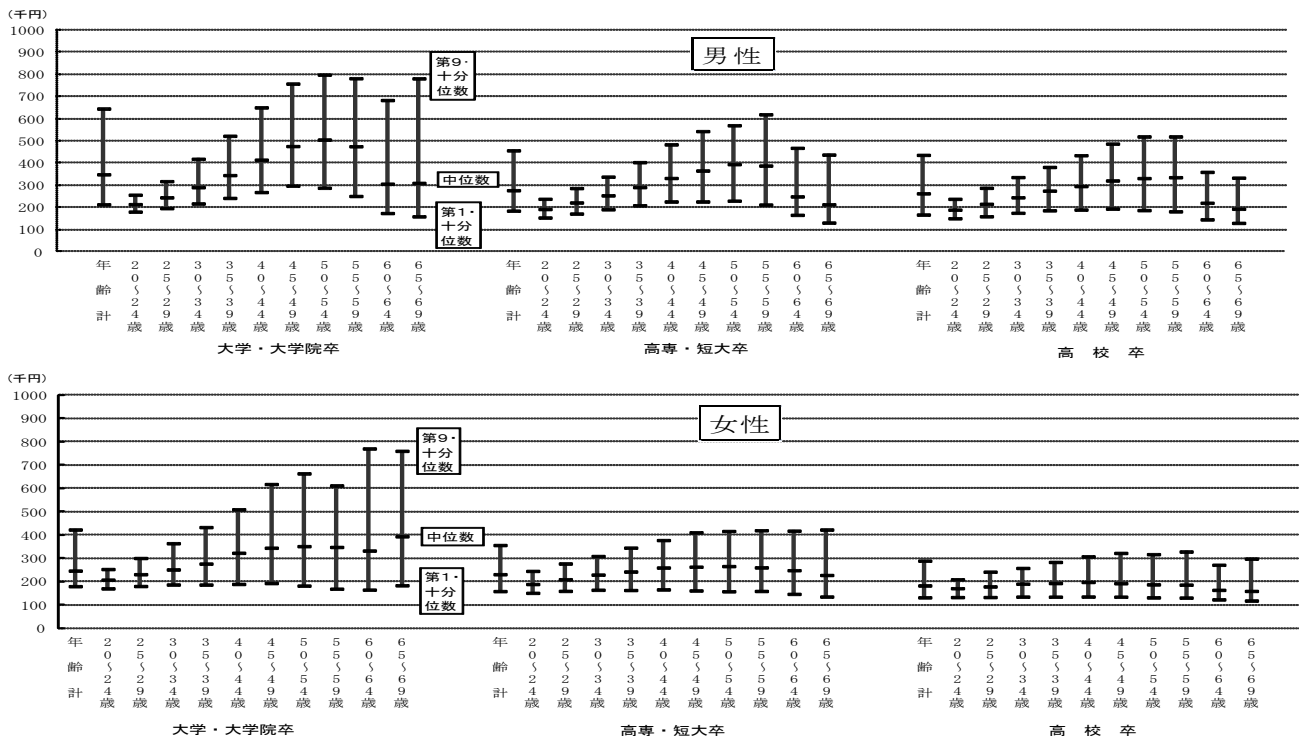
○ 四分位分散係数 =
$$\frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3) () 内は、平成23年の数値である。

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-2）

賃金階級	女性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.6	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.6	0.8	1.0	1.5	2.5
120.0 ～ 139.9	2.2	2.0	1.3	1.4	1.8	1.8	2.1	2.6	3.3	5.7	8.9
140.0 ～ 159.9	6.1	5.9	3.9	4.0	4.6	5.3	5.8	7.0	8.5	15.1	13.9
160.0 ～ 179.9	10.4	13.2	7.9	6.8	8.0	8.7	10.2	11.9	12.7	19.2	23.1
180.0 ～ 199.9	11.9	19.8	11.2	9.7	9.3	9.0	11.3	10.8	12.4	13.7	12.0
200.0 ～ 219.9	11.9	21.6	15.1	11.4	10.2	9.0	9.2	9.5	9.7	10.5	6.9
220.0 ～ 239.9	11.2	17.2	16.7	12.6	10.2	8.9	8.0	8.0	8.1	6.4	5.6
240.0 ～ 259.9	9.8	9.5	14.5	14.0	10.3	8.6	7.4	7.4	7.2	5.0	4.7
260.0 ～ 279.9	8.3	6.0	11.3	11.9	10.1	8.5	6.7	5.7	6.1	4.5	3.8
280.0 ～ 299.9	6.1	2.4	7.1	8.4	8.4	6.7	6.1	6.2	4.9	2.4	2.0
300.0 ～ 319.9	4.6	1.1	4.1	5.8	6.4	6.3	5.3	4.5	4.0	2.2	2.3
320.0 ～ 339.9	3.6	0.6	2.9	4.5	4.7	4.9	4.7	4.3	3.3	2.1	2.5
340.0 ～ 359.9	5.0	0.4	2.5	4.7	6.8	8.3	7.6	6.1	5.1	2.9	2.5
360.0 ～ 379.9	3.0	0.0	0.7	2.2	3.8	5.6	4.7	4.7	4.3	1.9	2.8
380.0 ～ 399.9	2.2	0.1	0.2	1.0	2.4	3.8	4.0	4.2	3.5	1.5	2.5
400.0 ～ 419.9	1.1	0.0	0.1	0.3	0.8	1.6	2.2	2.1	2.1	1.4	0.8
420.0 ～ 439.9	1.0	0.0	0.2	0.4	0.7	1.2	1.9	1.9	2.2	1.6	1.2
440.0 ～ 459.9	0.5	-	0.0	0.2	0.4	0.5	1.3	0.9	0.9	1.2	0.9
460.0 ～ 479.9	0.3	0.0	0.0	0.2	0.3	0.5	0.3	0.4	0.3	0.5	0.5
480.0 ～ 499.9	0.1	-	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6	0.2	0.3	0.2
500.0 ～ 519.9	0.1	-	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.4
520.0 ～ 539.9	0.1	-	-	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.0
平均値 (千円)	233.1	190.5	216.7	232.7	244.2	254.9	256.6	252.7	240.4	211.3	205.6
第1・十分位数 (千円)	142.3	143.4	152.8	153.0	148.8	145.6	143.1	139.1	134.3	124.9	117.6
第1・四分位数 (千円)	169.8	164.2	180.6	185.0	181.8	179.2	170.9	165.0	159.3	142.9	139.6
中位数 (千円)	212.2	187.8	212.6	225.1	230.9	235.9	227.2	218.7	206.1	171.7	162.6
第3・四分位数 (千円)	268.0	212.9	246.9	266.0	284.6	306.1	309.6	303.0	285.8	231.0	229.5
第9・十分位数 (千円)	345.2	241.5	283.3	315.8	350.9	379.1	402.2	405.5	396.0	344.0	350.9
十分位分散係数	0.48	0.26	0.31	0.36	0.44	0.49	0.57	0.61	0.63	0.64	0.72
	(0.48)	(0.26)	(0.31)	(0.38)	(0.43)	(0.52)	(0.58)	(0.62)	(0.63)	(0.62)	(0.62)
四分位分散係数	0.23	0.13	0.16	0.18	0.22	0.27	0.31	0.32	0.31	0.26	0.28
	(0.24)	(0.13)	(0.15)	(0.19)	(0.22)	(0.28)	(0.31)	(0.32)	(0.33)	(0.25)	(0.24)

第8図 学歴、性、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数



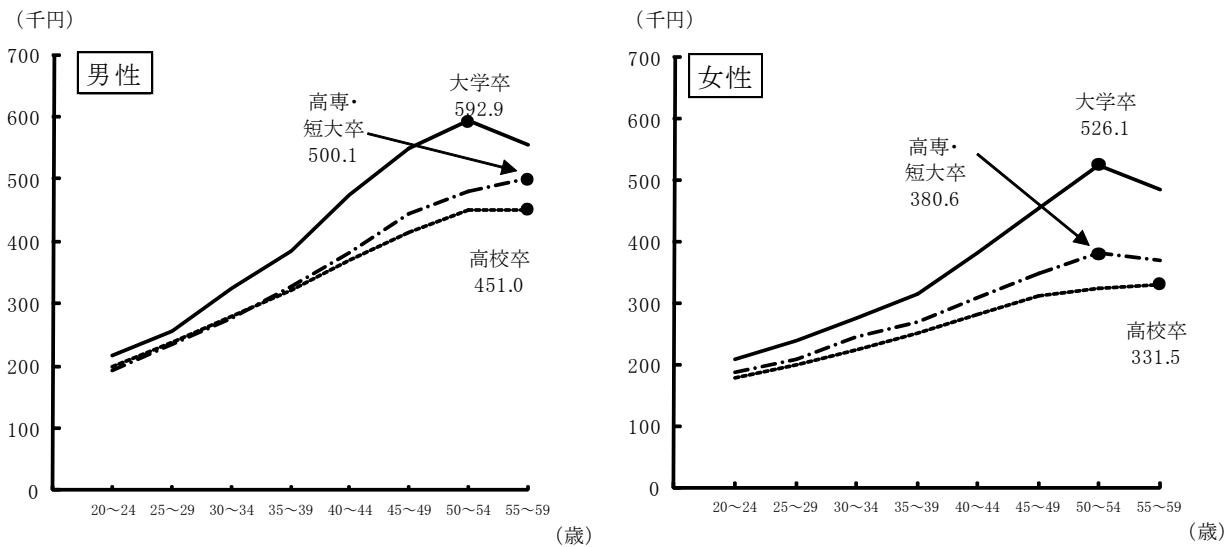
注:第9表 注:1)参照。

(8) 標準労働者の賃金

標準労働者について、賃金がピークとなる年齢階級を学歴別にみると、男性では、大学卒で50～54歳、高専・短大卒及び高校卒で55～59歳、女性では、大学卒及び高専・短大卒で50～54歳、高校卒で55～59歳となっている。

学歴別に20～24歳の賃金を100とすると、男性では、大学卒で賃金がピークとなる50～54歳で273、高専・短大卒及び高校卒で賃金がピークとなる55～59歳で高専・短大卒が258、高校卒が227、女性では、大学卒及び高専・短大卒で賃金がピークとなる50～54歳で大学卒が251、高専・短大卒が203、高校卒で賃金がピークとなる55～59歳で186となっている。（第9図、第10表）

第9図 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金



第10表 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級	大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	401.8	1.9	185	312.4	0.9	161	327.8	1.7	165
	20～24歳	217.1	-1.9	100	193.6	0.9	100	198.4	1.3	100
	25～29	254.7	-0.2	117	234.1	2.2	121	237.8	3.0	120
	30～34	323.1	2.0	149	277.1	0.2	143	280.4	2.6	141
	35～39	385.6	-0.2	178	327.1	0.0	169	321.2	1.1	162
	40～44	475.5	-0.4	219	380.7	-0.4	197	369.6	2.4	186
	45～49	550.4	1.5	254	443.0	-1.4	229	414.1	0.4	209
	50～54	592.9	5.0	273	480.2	2.2	248	450.7	0.9	227
55～59	555.1	0.2	256	500.1	-4.6	258	451.0	0.7	227	
女性	年齢計	263.2	1.3	125	242.7	1.1	129	230.3	1.0	129
	20～24歳	209.8	-1.2	100	187.5	2.1	100	178.5	1.1	100
	25～29	238.0	1.2	113	210.1	0.3	112	200.6	3.3	112
	30～34	275.5	1.3	131	243.9	1.6	130	223.3	1.9	125
	35～39	313.5	-1.7	149	270.9	-1.5	144	249.8	-0.4	140
	40～44	380.5	-3.1	181	309.5	-1.0	165	280.7	1.9	157
	45～49	455.5	0.3	217	348.1	-3.9	186	312.9	1.5	175
	50～54	526.1	9.6	251	380.6	-4.9	203	323.0	-2.4	181
55～59	484.0	-2.1	231	370.0	-3.9	197	331.5	-0.7	186	

(9) 製造業における労働者の種類別にみた賃金

製造業について、賃金がピークとなる年齢階級を労働者の種類別にみると、男性では、生産労働者が55～59歳で320.9千円、管理・事務・技術労働者が50～54歳で502.6千円、女性では、生産労働者が35～39歳で182.3千円、管理・事務・技術労働者が45～49歳で274.5千円となっている（第11表）。

第11表 製造業の労働者の種類、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性						女性					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	264.2	-0.8	137	391.8	2.0	187	171.2	-2.0	104	244.1	2.6	127
20～24歳	193.2	0.6	100	209.3	-0.4	100	164.5	1.2	100	192.0	2.6	100
25～29	221.0	1.7	114	249.0	-0.4	119	170.7	-0.2	104	217.9	1.7	113
30～34	246.5	1.7	128	298.2	1.9	142	176.9	-1.9	108	235.6	3.2	123
35～39	272.6	-0.7	141	343.4	-0.1	164	182.3	-2.2	111	247.6	1.9	129
40～44	290.5	-2.6	150	414.6	2.6	198	181.0	-2.7	110	269.5	3.6	140
45～49	311.8	-2.8	161	466.3	1.0	223	175.9	-5.0	107	274.5	4.7	143
50～54	315.7	-1.5	163	502.6	2.2	240	169.4	-4.5	103	273.8	2.3	143
55～59	320.9	-1.0	166	489.8	-0.1	234	176.3	1.8	107	253.8	-1.1	132
60～64	231.6	2.3	120	326.7	4.2	156	149.4	-0.6	91	217.4	5.4	113
年齢(歳)	40.5			43.6			43.8			39.6		
勤続年数(年)	13.2			17.2			10.1			12.0		

(10) 役職別にみた賃金

企業全体の常用労働者が100人以上の企業に属する労働者について、役職別の賃金をみると、男性では、部長級675.5千円（前年比3.8%増）、課長級525.1千円（同0.6%増）、係長級394.2千円（同0.2%増）、女性では、部長級649.1千円（同16.1%増）、課長級446.7千円（同1.2%増）、係長級349.6千円（同3.0%減）となっている（第12表）。

第12表 役職、性別賃金、対前年増減率及び役職・非役職間賃金格差
(企業規模100人以上)

役職	男性				女性			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	年齢 (歳)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	年齢 (歳)
部長級	675.5	3.8	327 (314)	51.7	649.1	16.1	321 (275)	51.9
課長級	525.1	0.6	254 (252)	47.5	446.7	1.2	221 (217)	47.5
係長級	394.2	0.2	191 (190)	44.0	349.6	-3.0	173 (177)	44.4
非役職者 (20～24歳)	206.7	-0.2	100 (100)		202.3	-0.4	100 (100)	

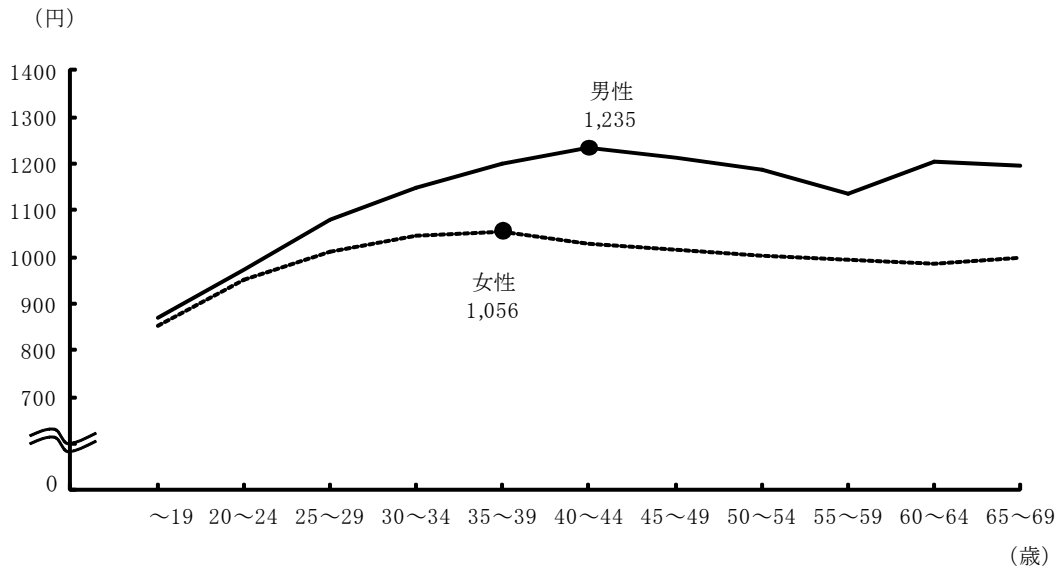
注：()内は、平成23年の数値である。

2 短時間労働者の賃金

(1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間当たり賃金は、男性が1,094円（前年比0.2%増）、女性が1,001円（同1.3%増）となっている。男性では、25～29歳以降は1,000円を超えており、40～44歳で1,235円と最も高くなっている。女性では、25～29歳、30歳代、40歳代及び50～54歳で1,000円台となっており、35～39歳で1,056円と最も高くなっている。（第10図、第13表）

第10図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金



第13表 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	1,094	0.2	112	1,001	1.3	105
～19歳	869	0.8	89	852	1.7	90
20～24	974	1.7	100	950	1.9	100
25～29	1,079	0.3	111	1,012	0.2	107
30～34	1,150	1.1	118	1,047	0.1	110
35～39	1,202	2.2	123	1,056	2.5	111
40～44	1,235	4.0	127	1,028	2.0	108
45～49	1,215	-1.1	125	1,014	1.2	107
50～54	1,187	0.2	122	1,004	1.1	106
55～59	1,136	-0.4	117	994	1.6	105
60～64	1,205	-4.9	124	987	0.3	104
65～69	1,196	1.8	123	998	2.3	105
年齢(歳)	41.4			45.1		
実労働日数(日)	15.8			17.3		
1日当たり所定内実労働 時間数(時間)	5.5			5.3		
勤続年数(年)	4.7			5.6		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,054円（前年比0.1%増）、中企業が1,106円（同0.6%減）、小企業が1,136円（同1.5%増）、女性では、大企業が998円（同1.2%増）、中企業が1,005円（同1.5%増）、小企業が1,002円（同1.4%増）となっている（第14表）。

第14表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)
大 企 業	1,054	0.1	100	998	1.2	100
中 企 業	1,106	-0.6	105	1,005	1.5	101
小 企 業	1,136	1.5	108	1,002	1.4	100

(3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉が1,000円を超えている（第15表）。

第15表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率 (%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男 性	産業計	1,094	0.2	100
	製造業	1,199	2.3	110
	運輸業、郵便業	1,117	-0.4	102
	卸売業、小売業	1,011	2.2	92
	宿泊業、飲食サービス業	925	1.0	85
	サービス業(他に分類されないもの)	1,055	-2.1	96
女 性	産業計	1,001	1.3	100
	製造業	895	-0.2	89
	卸売業、小売業	940	2.1	94
	宿泊業、飲食サービス業	901	1.2	90
	医療、福祉	1,224	0.2	122
	サービス業(他に分類されないもの)	990	2.8	99

注：産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、さらに、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。

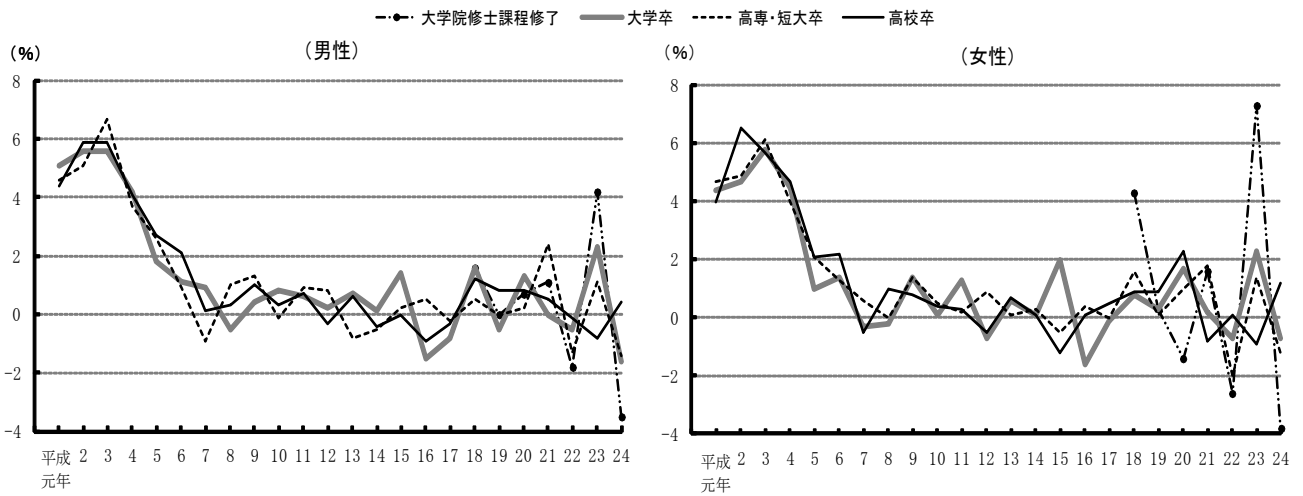
3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

平成 24 年の初任給を高校卒以上の学歴別にみると、以下のとおりになっている。

男女計	大学院修士課程修了	226.1 千円	(対前年増減率 -3.6%)
	大 学 卒	199.6 千円	(" -1.2%)
	高 専 ・ 短 大 卒	170.1 千円	(" -1.4%)
	高 校 卒	157.9 千円	(" 0.9%)
男性	大学院修士課程修了	225.6 千円	(対前年増減率 -3.5%)
	大 学 卒	201.8 千円	(" -1.6%)
	高 専 ・ 短 大 卒	173.0 千円	(" -1.4%)
	高 校 卒	160.1 千円	(" 0.4%)
女性	大学院修士課程修了	228.4 千円	(対前年増減率 -3.8%)
	大 学 卒	196.5 千円	(" -0.7%)
	高 専 ・ 短 大 卒	168.4 千円	(" -1.2%)
	高 校 卒	153.6 千円	(" 1.2%)

第11図 性、学歴別初任給の対前年増減率の推移



注：大学院修士課程修了については、平成17年から調査している。

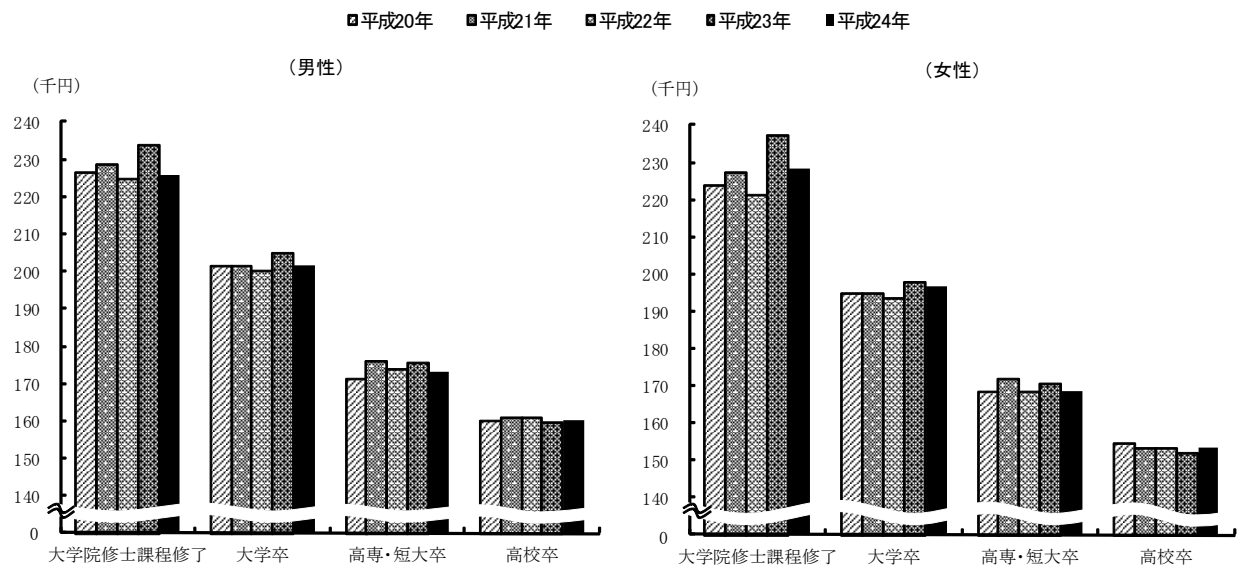
男女計、男女別ともに高校卒のみ前年を上回っている（第11図、第16表、第12図）。

第16表 性、学歴別初任給の推移

年	男女計				男性				女性			
	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒
平成20年	千円 225.9 (0.4)	千円 198.7 (1.5)	千円 169.7 (0.7)	千円 157.7 (1.3)	千円 226.2 (0.7)	千円 201.3 (1.3)	千円 171.6 (0.2)	千円 160.0 (0.8)	千円 223.6 (-1.4)	千円 194.6 (1.7)	千円 168.6 (1.0)	千円 154.3 (2.3)
21	228.4 (1.1)	198.8 (0.1)	173.2 (2.1)	157.8 (0.1)	228.6 (1.1)	201.4 (0.0)	175.8 (2.4)	160.8 (0.5)	227.1 (1.6)	194.9 (0.2)	171.7 (1.8)	153.0 (-0.8)
22	224.0 (-1.9)	197.4 (-0.7)	170.3 (-1.7)	157.8 (0.0)	224.5 (-1.8)	200.3 (-0.5)	173.6 (-1.3)	160.7 (-0.1)	221.2 (-2.6)	193.5 (-0.7)	168.2 (-2.0)	153.2 (0.1)
23	234.5 (4.7)	202.0 (2.3)	172.5 (1.3)	156.5 (-0.8)	233.9 (4.2)	205.0 (2.3)	175.5 (1.1)	159.4 (-0.8)	237.3 (7.3)	197.9 (2.3)	170.5 (1.4)	151.8 (-0.9)
24	226.1 (-3.6)	199.6 (-1.2)	170.1 (-1.4)	157.9 (0.9)	225.6 (-3.5)	201.8 (-1.6)	173.0 (-1.4)	160.1 (0.4)	228.4 (-3.8)	196.5 (-0.7)	168.4 (-1.2)	153.6 (1.2)

注：()内は、対前年増減率(%)である。

第12図 性、学歴別初任給の推移



(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、大企業（常用労働者1,000人以上）及び中企業（同100～999人）で男女ともに前年を下回っているが、小企業（同10～99人）の男女は、ともに前年を上回っている。また、高校卒では、大企業の男性を除き、男女ともに前年を上回っている。

初任給の企業規模間格差（大企業＝100）をみると、大学卒では、中企業の男性を除き、格差が縮小している。（第17表）

第17表 性、企業規模、学歴別初任給及び対前年増減率、企業規模間格差

性、企業規模			大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒		
			初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)
			平成24年	23年		平成24年	23年		平成24年	23年		平成24年	23年	
初任給 及び 対前年 増減率	男女計	企業規模計	226.1	234.5	-3.6	199.6	202.0	-1.2	170.1	172.5	-1.4	157.9	156.5	0.9
		大 企 業	230.2	235.8	-2.4	202.2	207.3	-2.5	177.6	183.0	-3.0	159.4	159.0	0.3
		中 企 業	219.9	237.5	-7.4	198.2	202.2	-2.0	169.0	172.8	-2.2	157.6	155.7	1.2
		小 企 業	210.7	205.6	2.5	196.5	189.5	3.7	167.3	168.4	-0.7	156.8	155.5	0.8
	男 性	企業規模計	225.6	233.9	-3.5	201.8	205.0	-1.6	173.0	175.5	-1.4	160.1	159.4	0.4
		大 企 業	229.4	233.9	-1.9	204.0	207.5	-1.7	177.7	178.0	-0.2	159.8	160.3	-0.3
		中 企 業	219.9	237.4	-7.4	200.1	206.3	-3.0	171.7	174.7	-1.7	160.0	158.6	0.9
		小 企 業	208.3	209.9	-0.8	200.2	194.3	3.0	170.7	175.1	-2.5	160.4	159.8	0.4
	女 性	企業規模計	228.4	237.3	-3.8	196.5	197.9	-0.7	168.4	170.5	-1.2	153.6	151.8	1.2
		大 企 業	234.7	245.9	-4.6	199.6	207.1	-3.6	177.5	188.2	-5.7	157.6	155.9	1.1
		中 企 業	219.7	238.1	-7.7	195.1	195.8	-0.4	166.6	171.2	-2.7	154.0	151.7	1.5
		小 企 業	217.6	196.6	10.7	192.5	185.3	3.9	166.4	165.5	0.5	151.0	149.1	1.3
企業規模 間格差	男女計	中 企 業	96	101	/	98	98	/	95	94	/	99	98	/
		小 企 業	92	87	/	97	91	/	94	92	/	98	98	/
	男 性	中 企 業	96	101	/	98	99	/	97	98	/	100	99	/
		小 企 業	91	90	/	98	94	/	96	98	/	100	100	/
	女 性	中 企 業	94	97	/	98	95	/	94	91	/	98	97	/
		小 企 業	93	80	/	96	89	/	94	88	/	96	96	/

注：1) 常用労働者1,000人以上の企業を大企業、100～999人の企業を中企業、10～99人の企業を小企業としている。

2) 企業規模間格差は、大企業の初任給を100としている。

(3) 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、男女ともに学術研究，専門・技術サービス業（男性213.3千円、女性208.1千円）が最も高くなっている。一方、最も低い産業は、男性は医療，福祉（191.5千円）、女性は宿泊業，飲食サービス業（186.7千円）となっている。高校卒では、男性は建設業（166.2千円）、女性は生活関連サービス業，娯楽業（164.5千円）が高くなっている。一方、最も低い産業は、男女ともに金融業，保険業（男性141.4千円、女性145.0千円）となっている。（第18表）

第18表 性、産業、学歴別初任給及び対前年増減率

性、産業	大学院修士課程修了			大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	
	平成24年	23年		平成24年	23年		平成24年	23年		平成24年	23年		
男	産業計	226.1	234.5	-3.6	199.6	202.0	-1.2	170.1	172.5	-1.4	157.9	156.5	0.9
	建設業	219.0	226.0	-3.1	203.7	199.8	2.0	181.0	169.2	7.0	165.2	167.9	-1.6
	製造業	225.9	223.7	1.0	199.7	196.9	1.4	173.7	171.9	1.0	158.0	157.8	0.1
	情報通信業	224.5	253.0	-11.3	205.3	224.2	-8.4	172.2	185.8	-7.3	160.2	154.5	3.7
	運輸業，郵便業	221.3	220.9	0.2	193.5	194.9	-0.7	167.7	168.4	-0.4	159.9	160.8	-0.6
	卸売業，小売業	221.8	232.9	-4.8	202.2	197.4	2.4	169.7	171.9	-1.3	155.8	157.2	-0.9
	金融業，保険業	224.6	223.3	0.6	193.0	194.2	-0.6	159.0	157.4	1.0	144.8	148.5	-2.5
	学術研究，専門・技術サービス業	229.7	251.9	-8.8	211.4	240.9	-12.2	171.3	179.2	-4.4	157.8	155.1	1.7
	宿泊業，飲食サービス業	189.9	207.6	-8.5	190.9	190.9	0.0	165.1	163.9	0.7	154.0	151.3	1.8
	生活関連サービス業，娯楽業	214.4	* 205.7	4.2	197.6	211.0	-6.4	165.5	167.5	-1.2	164.9	164.4	0.3
	教育，学習支援業	234.7	232.9	0.8	198.2	196.5	0.9	173.9	172.6	0.8	152.2	153.3	-0.7
医療，福祉サービス業	220.3	227.6	-3.2	195.7	194.1	0.8	169.8	174.3	-2.6	151.2	146.2	3.4	
(他に分類されないもの)	237.7	221.7	7.2	200.1	195.4	2.4	167.8	166.6	0.7	160.0	151.5	5.6	
女	産業計	225.6	233.9	-3.5	201.8	205.0	-1.6	173.0	175.5	-1.4	160.1	159.4	0.4
	建設業	219.2	225.7	-2.9	205.7	201.2	2.2	182.2	169.4	7.6	166.2	168.7	-1.5
	製造業	225.8	224.1	0.8	201.4	197.9	1.8	177.8	175.0	1.6	160.1	159.5	0.4
	情報通信業	224.0	251.0	-10.8	205.8	223.9	-8.1	181.8	190.2	-4.4	164.2	160.9	2.1
	運輸業，郵便業	221.5	221.5	0.0	195.1	193.9	0.6	172.5	177.3	-2.7	160.7	160.4	0.2
	卸売業，小売業	222.6	235.3	-5.4	203.6	199.1	2.3	169.1	172.6	-2.0	155.7	158.3	-1.6
	金融業，保険業	226.8	226.2	0.3	196.6	198.3	-0.9	172.0	164.6	4.5	141.4	157.3	-10.1
	学術研究，専門・技術サービス業	229.8	250.0	-8.1	213.3	248.3	-14.1	182.6	196.8	-7.2	157.8	158.3	-0.3
	宿泊業，飲食サービス業	182.2	* 211.1	-13.7	197.3	199.1	-0.9	164.7	165.1	-0.2	157.1	153.4	2.4
	生活関連サービス業，娯楽業	219.5	* 218.2	0.6	205.5	222.2	-7.5	164.4	166.2	-1.1	165.9	172.0	-3.5
	教育，学習支援業	229.4	237.9	-3.6	204.5	203.2	0.6	163.9	165.9	-1.2	155.2	157.5	-1.5
医療，福祉サービス業	217.4	223.0	-2.5	191.5	192.2	-0.4	172.0	177.0	-2.8	148.7	143.9	3.3	
(他に分類されないもの)	233.6	218.6	6.9	201.5	197.2	2.2	171.0	170.3	0.4	161.3	154.9	4.1	
男	産業計	228.4	237.3	-3.8	196.5	197.9	-0.7	168.4	170.5	-1.2	153.6	151.8	1.2
	建設業	218.2	228.9	-4.7	198.9	195.1	1.9	171.8	168.5	2.0	149.2	146.5	1.8
	製造業	226.9	220.5	2.9	195.8	194.0	0.9	166.2	166.4	-0.1	151.9	152.4	-0.3
	情報通信業	227.9	263.6	-13.5	204.4	224.5	-9.0	157.6	178.2	-11.6	152.8	145.2	5.2
	運輸業，郵便業	218.8	213.0	2.7	189.9	197.6	-3.9	157.3	159.3	-1.3	157.5	161.7	-2.6
	卸売業，小売業	218.6	230.2	-5.0	199.8	194.9	2.5	170.5	171.0	-0.3	156.0	156.6	-0.4
	金融業，保険業	210.3	214.3	-1.9	189.6	190.3	-0.4	158.5	157.2	0.8	145.0	146.9	-1.3
	学術研究，専門・技術サービス業	229.4	259.4	-11.6	208.1	227.7	-8.6	166.1	163.3	1.7	157.8	149.4	5.6
	宿泊業，飲食サービス業	* 200.6	* 200.7	-0.0	186.7	185.4	0.7	165.4	162.9	1.5	152.3	150.0	1.5
	生活関連サービス業，娯楽業	* 201.4	* 168.3	19.7	191.2	202.4	-5.5	166.0	168.2	-1.3	164.5	161.9	1.6
	教育，学習支援業	239.0	225.8	5.8	195.8	193.3	1.3	174.3	173.2	0.6	151.1	152.0	-0.6
医療，福祉サービス業	223.5	230.3	-3.0	198.2	195.0	1.6	169.3	173.3	-2.3	152.1	147.0	3.5	
(他に分類されないもの)	246.3	* 235.4	4.6	197.3	192.5	2.5	164.2	160.1	2.6	154.7	142.8	8.3	

注：1) 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。
2) 「*」は、調査回答数が少ない等、利用に際し注意を要する。

(4) 初任給の分布

初任給の分布をみると、大学卒では、男女とも20万円台が最も多く、それぞれ41.2%、29.2%となっている。高校卒では、男性で16万円台が最も多く（35.1%）、女性で15万円台が最も多く（30.7%）となっている。（第19表）

第19表 初任給の階級、性、学歴別新規学卒採用者数割合

初任給の階級	男女計				男性				女性			
	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
千円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 109.9				0.1				0.1				0.1
110.0～ 119.9				0.8				0.3				1.6
120.0～ 129.9			1.2	2.3			1.3	1.0			1.2	4.7
130.0～ 139.9			4.0	5.5			2.3	3.8			4.9	8.9
140.0～ 149.9		1.4	9.4	13.3		1.2	6.7	10.2		1.7	11.1	19.3
150.0～ 159.9		1.8	12.3	30.8		1.1	9.2	30.8		2.8	14.3	30.7
160.0～ 169.9	0.4	3.7	23.0	30.7	0.4	2.7	19.7	35.1	0.7	5.1	24.9	22.4
170.0～ 179.9	0.4	8.5	18.7	10.1	0.4	6.0	21.7	11.7	0.3	12.0	16.9	7.2
180.0～ 189.9	1.3	11.2	15.1	3.7	1.3	9.6	21.4	4.0	1.5	13.3	11.4	3.2
190.0～ 199.9	2.7	14.9	9.5	1.6	2.3	14.0	11.5	1.8	4.6	16.1	8.3	1.1
200.0～ 209.9	7.1	36.2	3.8	1.1	7.0	41.2	4.3	1.2	7.7	29.2	3.5	0.9
210.0～ 219.9	14.3	9.5	1.6		14.0	11.0	1.1		15.7	7.3	1.8	
220.0～ 229.9	46.3	5.7	0.3		49.8	5.9	0.4		29.7	5.3	0.3	
230.0～ 239.9	12.9	2.7	1.1		13.0	3.0	0.5		12.5	2.3	1.5	
240.0～ 249.9	6.3	1.4			4.6	1.3			14.5	1.5		
250.0～ 259.9	5.6	1.8			5.1	1.7			7.9	1.9		
260.0～ 269.9	0.6	1.0			0.6	0.9			0.3	1.1		
270.0～ 279.9	0.8				0.5				2.1			
280.0～ 299.9	0.7				0.5				1.6			
300.0～	0.4	0.3			0.4	0.3			0.8	0.3		
平均額(千円)	226.1 (234.5)	199.6 (202.0)	170.1 (172.5)	157.9 (156.5)	225.6 (233.9)	201.8 (205.0)	173.0 (175.5)	160.1 (159.4)	228.4 (237.3)	196.5 (197.9)	168.4 (170.5)	153.6 (151.8)
第1・十分位数(千円)	207.5 (208.4)	173.4 (170.6)	144.4 (147.2)	140.6 (135.1)	208.3 (210.5)	178.0 (173.4)	149.3 (151.8)	144.1 (140.8)	203.7 (195.5)	170.3 (166.5)	142.5 (145.5)	133.9 (130.8)
中位数(千円)	227.4 (228.3)	201.6 (201.0)	170.0 (171.2)	159.0 (158.5)	227.1 (228.1)	202.5 (202.1)	173.1 (175.4)	160.6 (160.4)	228.5 (230.7)	199.0 (197.6)	166.5 (167.9)	154.4 (152.3)
第9・十分位数(千円)	245.7 (286.2)	225.1 (239.6)	194.4 (201.5)	175.1 (175.5)	242.6 (285.9)	225.8 (250.8)	194.5 (207.6)	176.2 (178.0)	251.0 (286.9)	222.3 (231.6)	194.3 (200.8)	171.7 (171.1)
十分位分散係数	0.08 (0.17)	0.13 (0.17)	0.15 (0.16)	0.11 (0.13)	0.08 (0.17)	0.12 (0.19)	0.13 (0.16)	0.10 (0.12)	0.10 (0.20)	0.13 (0.16)	0.16 (0.16)	0.12 (0.13)

注：1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒採用者を初任給の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第9・十分位数、低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目（真ん中）に該当する者の初任給が中位数である。

2) 十分位分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。

一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3) () 内は、平成23年の数値である。

